# β'モデルにおける強力なプロキシとして実装 先進的な自治体ネットワークの基盤として採用された A10 Thunder CFW

## 顧客名:

名古屋市

## 業種:

自治体

### A10 のソリューション:

A10 Thunder CFW による Microsoft 365 への ローカルブレイクアウト及びインターネット利 用時のプロキシ

### 課題:

- 三層分離におけるαモデルからβ'モデルへの 移行を計画
- Microsoft 365 の機能をフル活用できる 環境整備が必須に
- 導入済みの A10 Thunder CFW を生かした 構成を検討

## 導入効果:

- 市役所 DX を強力に推進するβ'モデルに 必要なネットワーク環境を整備
- 2万人超の職員が Microsoft 365 の機能を フル活用しても耐えられる基盤を構築
- 冗長化した A10 Thunder CFW とともに、 過去導入した機器をバックアップ用に配置



総務局行政 DX 推進部 デジタル改革推進課 前田 敦紀氏



総務局行政 DX 推進部 デジタル改革推進課 太田 集氏

**风名古屋市** 

「庁内全体のプロキシとなる以上、それが落ちてしまうとサービス全体を止めてしまう。 その意味でも、安定性を最も重視しました。また、プロキシやファイアウォールなど1つの筐体で 多くの機能をカバーできる点も重視した結果、A10 Thunder CFW を選択しました。"

総務局行政 DX 推進部 デジタル改革推進課課 前田 敦紀氏

<sup>「</sup>A10 Thunder CFW のおかげで、AI 活用も含めて可能な限り標準的な運用で効率的に 活用してもらえる基盤づくりが整備できました。"

総務局行政 DX 推進部 デジタル改革推進課課 太田 集氏





愛知県名古屋市では、三層分離におけるβ'モデルに向けて新たな環境整備を計画してい ます。Microsoft 365 が持つ機能をフル活用しながら、インターネットアクセスにおける クラウドアクセスプロキシの役割を担う機器として、A10 ネットワークス(以下、A10)が 提供する「A10 Thunder® CFW」を採用しました。

## 課題:市役所 DX に向けて、従来のαモデルからβ'モデルへの移行を計画

中部地方における政治や経済、文化の中枢都市として230万人を超える人口を有しており、2026年には アジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会や日本で初開催のアジアパラ競技大会など国際的な スポーツベントの開催が注目されている名古屋市。市政運営の指導理念である「名古屋市基本構想」の もと、「長期的展望に立ったまちづくり」の実現に向けた取り組みを総合的・体系的にまとめた「名古屋市 総合計画 2028」を推進しており、「リニアがつなぐ巨大交流圏の中心で躍動する世界都市、誰もが幸せと 希望を感じられる名古屋」を基本方針として、2040年頃の名古屋の姿を5つの目指す都市像として設定 するなど、長期的展望に立ったまちづくりを進めています。

そんな名古屋市では、2019年に策定した「名古屋市ICT活用に関する基本方針」の考え方を継承し、 市民サービスや職員の働き方、業務等のDXを推進する「市役所DX」と、市民の暮らし・産業分野のDXを 推進する「都市 DX」を、一体的・加速度的に推進し、市民の生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)の向上や 地域経済の活性化、新たな付加価値の創出につなげています。

市役所 DXを強力に推進するべく、以前から三層分離におけるB'モデルへの移行を検討しており、なか でも Microsoft 365 の機能をフル活用して日々の業務に生かす環境整備を計画してきました。「もともと 市役所 DX の方向性と具体的な取り組みを示した名古屋市役所 DX 推進方針に基づいて、「市民サービ ス」「働き方・業務」「情報システム」「組織・風土」の4つの領域で市役所DXの推進に取り組んでいます。 その一環として計画したのが、従来のαモデルからβ'モデルへの移行です」と名古屋市総務局行政 DX 推 進部 デジタル改革推進課 大田 集氏は説明します。

β'モデルへの移行とともに、Office アプリケーションをはじめ OneDrive や Microsoft Teams、Microsoft SharePoint といった Microsoft 365 が持つ機能をフル活用し、Microsoft 365 Copilot などの AI 機能を業 務に活かすべく、新たな環境への移行を数年前より検討してきました。「市役所DXの施策においては、ク ラウドファースト・クラウドネイティブの推進や柔軟かつ安定・安全なネットワーク基盤の推進が掲げられ ています。インターネットを積極的に使って業務改革を進めていくためにも、 $\beta$ 'モデルへの移行は欠かせ ませんでした」と同課前田敦紀氏は語ります。

## 検討:2万人超のプロキシ、Microsoft 365 へのブレイクアウトなど豊富な機能が大きな決め手に

新たな環境づくりでは、庁内の2万人を超える職員がインターネットアクセスする際に欠かせないプロキ シが必要になるため、その調達を計画しました。「庁内全体のプロキシが落ちてしまうとインターネット **A10** 

名古屋市 | CASE STUDY

接続が止まってしまうため、安定性を最も重視しました。また、複数の機能を分 散させると構成が複雑になり、障害点が増えることでリスクを高めてしまいます。 インターネット接続時のプロキシや Microsoft 365 接続におけるファイア ウォール、別プロキシへのリダイレクト機能など、可能な限り1つの筐体でやり たいことがまとまっているものが理想でした」と前田氏は語ります。スケールアウ トしやすいという視点でも、シンプルな構成を希望していました。

また利用者が多くセッション数が大きく膨らむことが想定されるため、複数の回 線をバランシングする機能も求められました。「現状は、Microsoftのライセン ス認証や一部 Microsoft 365 Copilot を使っているレベルですが、新たな環境で は Exchange Onlineや Microsoft Teams など利用が大幅に拡大していくはず。 そうなると1台あたり数十セッションとなります。 さらにその他のWebサービス の利用も考えると、従来の環境では帯域が逼迫することが想定されました。こ れまで以上に回線をうまくバランシングする必要があると考えたのです」と前田 氏は説明します。

運用についても、従来は PAC ファイルを配布して通信の振り向け先を制御してい ましたが、β'モデルになればSaaS含めたさまざまな経路への制御が必要です。 運用が複雑になるだけでなく、PACファイルの変更反映に時間を要するデメリッ トもありました。その意味でも、プロキシ側で通信の振り分けが柔軟に実現で きる環境を求めました。

β'モデルにおけるインフラ運用を入札要件として設定した結果、従来環境で一 部ローカルブレイクアウトとして採用していた A10 Thunder CFW が、フル活用 する Microsoft 365 へのローカルブレイクアウトおよびインターネット利用時のプ ロキシの役割を担うソリューションとして、改めて選択されることになりました。

## ソリューション:1つの筐体にさまざまな機能を内包した A10 Thunder CFW

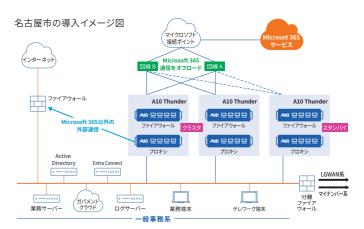
A10 Thunder CFW は、インターネット接続において欠かせないプロキシとして だけでなく、アプリケーション配信やファイアウォール、IPSec VPN、セキュア Web ゲートウェイ、DDoS 防御などの複数のセキュリティ機能を1つに集約して 提供しています。専用 ASIC による SSL 高速化やドメイン変更にも柔軟な追従を 実現する Microsoft 365 へのローカルブレイクアウトなど、シンプルな構成で多 くの機能をネットワークに実装可能です。

## 導入効果: 先進的なβ'モデルへの移行、プロキシおよび経路選択の 柔軟性を高める A10 Thunder CFW

新たなネットワーク環境では、新規調達したA10 Thunder CFW が冗長化され、 現在のネットワークにて利用している A10 Thunder CFW をバックアップ機として 活用する構成となっています。2万1,000名を超える職員が利用する庁内ネット ワークにおいて、インターネット接続時のプロキシとして A10 Thunder CFW が 機能します。プロキシだけでなく、従来通り Microsoft 365 へのローカルブレイク アウトを実現しながら、暗号化処理のオフロードを可能にする SSL アクセラレー ション機能を活用するなど、A10 Thunder CFW が処理の高速化にも貢献します。

インターネットに抜ける際には次世代ファイアウォールを経由する流れとなって おり、LGWAN 接続系ネットワーク内の業務システムについては、インターネット 接続系端末からVDIを経由してアクセスします。「Microsoft 365の機能を十分 に使いこなすためにも、プロキシとして機能する A10 Thunder CFW については、 2万人超の職員1人あたり100セッションを同時に使用しても耐えるスペックを 持った機種を選定しています」と語る前田氏。なお、従来利用していたオンプレ ミスのメール環境やファイルサーバは災害対策も兼ねて継続使用し、Exchange Onlineや OneDrive を目的に合わせて使い分ける計画としています。

運用はこれから始まることになりますが、A10 Thunder CFW の存在を意識する ことなく安全にインターネットへの接続が可能になり、柔軟な業務基盤が整備 できる点を高く評価します。「β'モデルに移行することで、職員が業務を遂行す る際に利便性を向上させることにつながり、生産性の向上や働き方の柔軟性を 高めることができます。A10 Thunder CFW があることで、ネットワークを大きく 変更しても、その変化を意識させることなくスムーズに移行できることが何よりも



大きい」と前田氏は力説します。現在は庁内環境を意識していますが、例えば Microsoft Teams などを使って住民向けに情報発信するなど、住民サービスへ の拡張も可能な土台として期待されています。

β'モデルに移行すれば、αモデルでは使えなかった各種アプリケーションが容易 に試行できるようになるため、従来は複数の環境で運用していた情報系システ ムを統合するなど、より構成がシンプルになる点も大きいと語ります。「複数の アプリケーションを組み合わせて使っていたものを Microsoft 365 に統合するこ とで、ドメイン統合も含めてシンプルな運用が可能になるはずです」と大田氏は 語ります。システムを統合することでデータが集約しやすくなり、これまで以上に データ分析や活用に対してプラスの効果が期待されています。

A10 Thunder CFW については、パフォーマンスを確認する程度で済んでおり、 GUIから定期的に確認をすることなく運用を続けていることから、意識せずに運 用できる安定した性能を高く評価します。またA10に関しては、タイムリーな情 報提供で手厚い支援が得られていると好評です。

## 今後の展開:快適に業務遂行できるβ'モデル、活用の幅をさらに 広げていきたい

現在は $\beta$ 'モデルに向けた環境整備を進めている段階で、実運用はこれか らの予定ですが、これまで安定したローカルブレイクアウトを実現してきた A10 Thunder CFW には高い期待が寄せられています。「ローカルブレイクアウ トとともに、新たにインターネット接続時のプロキシとしての役割を持たせるこ とになります。多くの職員がアクセスしても快適なネットワークが維持できるは ずです」と前田氏は語ります。

当面は業務基盤として Microsoft 365 を中心に運用していきますが、原課から は新たな接続先の要望が上がってくることが想定されます。「現場でも送信先IP によるリダイレクト処理で個別のプロセスを動かすなど、A10 Thunder CFWの 標準機能ではできないこともカスタムで機能実装することが可能です。いろいろ 活用の幅が広がることでしょう」と前田氏は語ります。

最後に「AI活用も含めて、可能な限り標準的な運用で効率的に活用してもらえ る基盤づくりはこれからも必要です。いつでも使える土台としてのインフラ提供 を意識しながら、A10 Thunder CFW をうまく活用していきたい」と今後について 大田氏に語っていただきました。

### ■ A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks は、オンプレミス、ハイブリッドクラウド、エッジクラウド環境における、セキュ リティ、インフラストラクチャの課題を解決するソリューションを提供しています。大手グロー バル企業や通信、クラウド、Web サービス事業者まで7000 社以上のお客様に導入いただい ており、ビジネスに不可欠なアプリケーションやネットワークの安全性、可用性、効率性を高 めています。A10ネットワークスは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに 本社を置き、世界中のお客様にサービスを提供しています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を 積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワーキングソリューションをご提供するこ とを使命としています。詳しくはホームページをご覧ください。

- URL: https://www.a10networks.co.jp/
- X (IE Twitter): https://twitter.com/a10networksip
- Facebook:https://www.facebook.com/A10networksjapan

記載された内容は2025年10月時点の情報です

## Learn More

**About A10 Networks** 

www.a10networks.co.jp

お問い合わせ A10networks.co.ip/contact A10ネットワークス株式会社

©2025 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 ロゴ、A10 Networksは米国およびその他各国におけるA10 Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他上記の全ての商品およびサービスの名 移はそれら各社の商標です。A10 Networks は本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networks は、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する 場合がございますので、ご注意ください。商標について詳しくはホームページをご覧ください。 www.a10networks.com/a10-trademarks Part Number: A10-CS-Nagoya City-02 OCT 2025



子ども医療費は

この水準で医療費助成を実施しているのは



カウンセラーが常勤



往宅が持ちやすい 東京23区:771,600円 :282,800円 比較

健康への

手厚いサポート

政令市で唯一、12・15・18歳のインフル エンザ予防接種の医療費の負担分を全

額助成。政令市初の取り組みとして、50歳

以上の方は腹部超音波スクリーニング検

交通網点

査が500円で受けられます。

各戸収集!

政令市で4市だけです。

新幹線駅3カ所

豊橋駅

※新幹線所要時間は 名古屋駅発。 ※飛行機所要時間は

中部国際空港発。

自宅の前にごみを出す各戸収集を 行っているのは、名古屋市を含めて

名古屋の地価公示価格 222,300円

:257,000円 出典:国土交通省2025年地価公示

県営名古屋空港

三河安城駅

名古屋駅

中部国際空港





JR・名鉄・近鉄・地下鉄・あおなみ線・市バス・ゆと りーとライン(ガイドウェイバス)などが市内をほぼ 網羅しており、とても便利です。



市内には1,504カ所の都市 公園があり、都市公園面積の 割合は政令市1位\*です! ※2025年4月1日時点

# SRT (Smart Roadway Transit)の導入

名古屋都心部で、新しい移動価値の創出や都市 空間の魅力向上を目指したSRT(Smart Roadway Transit)を導入します。



名古屋市民が

「住みやすい」と回答!

水量が豊かで水質も良好な木曽川が水源。大都市の中で硬度 が特に低く、「あっさりとしてまろやかな味」と言われています。



名古屋港の貿易黒字額(2024年)は 8兆5,966億円 27年連続で国内1位!

# ※この調査は136都市を対象にしています。

全国

日本の都市特性評価

100分 (飛行機) 京都まで

東京まで **35**分 95<sub>#</sub>

沖縄まで 130% (飛行機)

(新幹線)

大阪まで 50分 (新幹線)

北海道まで

―人当たりの都市公園の面積

3.0 m vs A古屋市

# 1ヶ月の駐車場料金

61,600<sub>B</sub> vs 名古屋市

月々の住宅コスト

162,000 m vs

出典:総務省統計局[2024年 小売物価統計調査] より民営家賃から55平米で算出





通勤時間(中位数)は31.9分 東京23区41.9分 横浜市50.9分 <sub>出典:総務省</sub> 2023年住宅・土地統計調査結果

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市に 選定されています!

## 平均賃金が高い 312.6千円

全国平均の311.8千円と比較しても 愛知県は高い水準です。 <sub>出典:厚生労働省 2024年賃金構造基本統計調査</sub>

地域子育て支援拠点など

全ての市立中学・高校・

キャリア教育の専門家が

施設があります。

保護者が無料で遊べ、育児相談もできる

ゲームを通じて社会や経済の仕組みを 学ぶワークショップなど、小学生・中学生・ 高校生の成長段階や関心に応じた プログラムを実施しています。



# スポーツチームが

スポーツ体験教室や無料観戦招待 などを実施。ハイレベルなスポーツ を日常的に楽しむことができます。

## 政 令 市

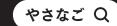
名古屋には19の大学があり、日本 有数の大学の集積地です。



Open hearts, endless possibilities

都市機能も揃い、利便性も高い大都市でありながら、寛容で人を想う マインドが根付いている都市。 名古屋はこれからも「やさしさ」を力にし、新しいモノ・コトを生み出していきます。





名古屋市 総務局 企画部 企画課 シテイプロモーション推進担当